

Perceval valveを使用した心大血管手術に対する治療成績の向上を目的とする研究

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	Perceval valveを使用した心大血管手術に対する治療成績の向上を目的とする研究
倫理審査 受付番号	第3514号
研究期間	2020年 6月倫理審査承認日～2024年 3月31日
研究対象情報 の取得期間	下記の期間に当院 心臓血管外科を受診された、弁疾患・冠動脈疾患・大動脈瘤などの方 2019年 5月 1日～2020年 6月 3日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義)

<目的>

心エコー・心臓同期縦隔単純CTでの画像評価を用いて留置した人工弁の1つPerceval valveの人工弁の変化や術前と術後の大動脈弁輪の変化やそれにより心機能をより詳しく解析します。

<意義>

1)Perceval valveは、生体弁の周りにステントポストがついており、それにより大動脈弁輪と人工弁との細かい画像による解析ができます。

2)従来の人工弁と異なるところは自己拡張型であり、時間の経過とともに大動脈弁輪部に圧着していくため、長期にわたる変化を3DCTにより解析し、術前で計測した大動脈弁輪径と術中に計測した弁輪径、術後の大動脈弁輪径の変化を解析し、今後の計測の検討や手術戦略の是非を検討します。

(研究の方法)

従来の経胸壁心エコー検査と心臓同期の縦隔単純CT検査において画像解析を行います。予定症例数は、60例で、術前と術後の大動脈弁評価で用いる経胸壁心エコー検査、心臓同期縦隔CT検査を行います。

また、以下の項目をレジストリとして登録し、評価します。

手術：手術方法、術式

術前の術後の経胸壁心エコー検査、心臓同期縦隔CT検査

(個人情報の取り扱い)

患者個人情報は研究独自のIDで対応表を作成し、得られた各モニタリングのデータのための統計処理を行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 心臓血管外科
主任教授 坂口 太一 (研究責任者)
病院助手 佐藤 礼佳 (研究担当者)

TEL | 0798-45-6852